

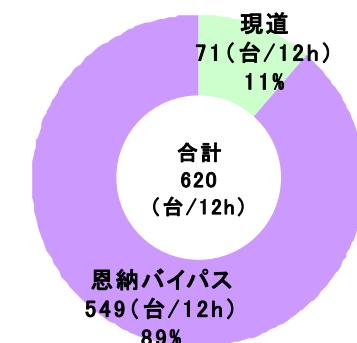
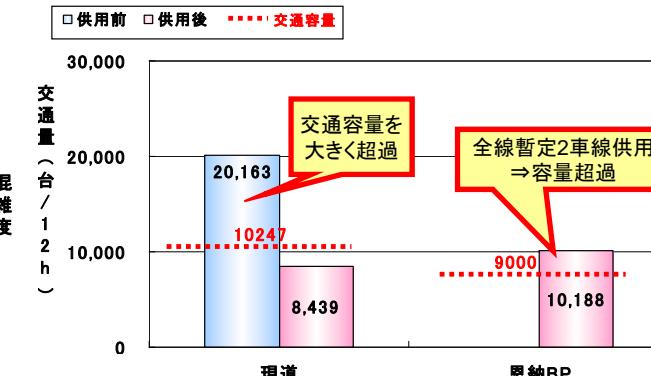
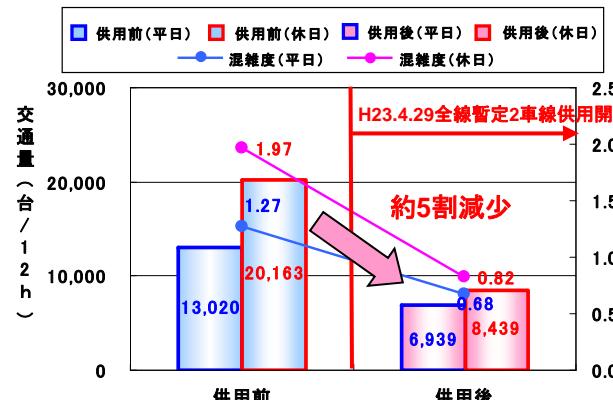
国道58号恩納バイパス ~平成23年4月29日 全線2車線暫定供用 整備効果~

事業目的

- ①恩納村内における観光シーズンの交通渋滞の緩和、②国道58号の交通安全確保および沿道環境の改善
- ③県内屈指のリゾート地である恩納村の観光支援

恩納バイパス供用による効果

- 恩納バイパス供用に伴い、現道の交通量が約5割減少し、混雑度は0.82(休日)と1以下となり、混雑の緩和が見られる(図1)。道路利用者も混雑緩和及び騒音の軽減について実感している。
- 現在恩納バイパスについては、暫定2車線による供用であり、休日等において交通容量を超過する状況(図2)も見られることから、周辺の交通状況等を踏まえ、今後の整備について検討を進めていく予定である。
- 恩納バイパスの供用により、大型車(ダンプトラック)の約9割が恩納バイパスを通過。それに伴って、国号58号の沿道住民の安心感向上に寄与。



▲図1 国道58号現道における交通量と混雑度の推移

▲図2 断面における全車交通量・交通容量(休日)

▲図3 供用後の大型車(ダンプ)交通量(平日)

利用者の声

- 現道の交通量が減少したため渋滞が緩和し、騒音も減少した。
- 現道を通行する大型車が少なくなり、生徒を送迎する保護者の車の右左折が容易になり、また、児童の登下校時の安全性も上がった。
- バイパスを利用することで、時間短縮が図られ、搬送先まで効率よくかつ安全に配送ができるようになった。

